

1. 学校の教育目標

「わが学園は、教育を通して『努力心』『誠実心』『独立心』を養い、平和社会の建設に貢献する人間を育成することを使命とする」本学園の建学の精神をもとに
①社会を見つめ、自己の進路実現がかなうよう、指導支援する。
②生徒個々の自学力が向上するよう指導支援する。

2. 教育目標具現化の施策

- ①本校の伝統を継承しつつ、新しい時代の教育要望に応える学校を構築する。
- ②教職員全員が自己の教育力を伸ばすと共に、学校の発展を進める。
- ③地域・中学校・大学・専門学校等との連携を強め、本校の存在意義や教育方針を広く浸透させる。
- ④教育相談やアップルームの活動を積極的に取り組み、理解を深める。
- ⑤学校安全を徹底し、安心して学校生活ができるよう環境を整える。

2021年度の取組目標とその評価

| 取りまとめ | 取組目標 | 取組報告 | 評価 |
|-------|----------------------------|---|----|
| 教務 | 生徒一人ひとりを向上させる指導方法の工夫・改善を図る | 「楽しい授業」を実施した。 | B |
| | | アクティブラーニングの研究と授業実践をした。 | |
| | | 校内研修の充実を図った。 | |
| | | 放課後補習により自学自習・学習習慣の定着を図った。 | |
| | | I C T 教育を推進するため、研究を進めた。 | |
| | 教育システムの充実 | 教育課程の研究を進めた。 | |
| | | 英語・数学・簿記の習熟度別クラス編成を実施した。 | |
| | 学校行事の充実 | ユニットベースを有効活用した。 | |
| | | コロナ禍での行事開催に取り組んだ。 | |
| | | 課題 タブレット端末を使用する生徒数が今後増加するため、さらに I C T 教育を推進する必要がある。コロナ禍と生徒の特性を考慮するアクティブラーニングの研究を行う。 | |
| | 今後の改善方策 | 教科ごとの事例を集約し、成功事例を共有する。「楽しい授業」の検証を重ねていく。 | |

| | | | |
|------|---------|------------------------------------|---|
| 進路指導 | 進路学習の充実 | 生徒・保護者対象の面談を計画的に実施した。 | B |
| | | 3年間を見通した進路指導を計画し実践する。 | |
| | | 進路学習ブックの見直しをした。 | |
| | | 東海大学付属推薦希望者への進路指導を計画的に実施した。 | |
| | | 学生課就職担当・就労移行支援事業所「I ビリーブ」との連携を深めた。 | |
| | 課題 | 3年間を見通した指導を実践できているか。 | |
| | | 今後の改善方策 教員研修を早期の段階で実施する。 | |

| | | | |
|------|---------|--|---|
| 生徒指導 | 校内指導 | あいさつ、言葉使いなどの基本となるマナーの定着を図った。 | B |
| | | 服装や頭髪、その他の学校規則に対する意識を高め、守らせた。 | |
| | | 公共心・道徳心を養い、お互いを尊重する心を育成した。 | |
| | 校外指導 | 学校周辺パトロールを実施した。 | |
| | | 警察や周辺の学校との連携を取り、情報交換した。 | |
| | | 学校周辺のコンビニを巡回し、利用マナーの定着を図った。 | |
| | 課題 | コロナ禍のため、学校周辺のパトロールは実施できなかった。挨拶や言葉遣いの指導が不十分なため、進路活動の前に指導することがあった。 | |
| | 今後の改善方策 | 新型コロナ感染防止のために注意しながらパトロール等を実践していく。 | |

| | | | |
|------|---------|--------------------------------|---|
| 教育相談 | 教育相談 | 教職員が連携し生徒情報を共有しながら教育相談の充実に努めた。 | A |
| | | 教員研修を実施した。 | |
| | 課題 | 生徒情報の共有を速やかに実施する。 | |
| | 今後の改善方策 | 定期会議以外でも、生徒情報の共有化を図る。 | |

| | | | |
|------|---------|---|---|
| 保健安全 | 生徒の健康管理 | 定期健康診断の実施と、生徒の健康管理を行った。 | B |
| | | 健康診断結果による勧告書を発行・回収した。 | |
| | | 時期に応じた保健情報を提供した。 | |
| | | 熱中症・インフルエンザ・ノロウイルス等の流行情報を速やかに伝えた。 | |
| | | 保健室の維持管理を実施した。 | |
| | | 保健室の適切な利用を指導した。 | |
| | 傷病事故の管理 | 清掃の計画と実施、点検を実施した。 | |
| | | 傷害事故の把握（教科担当と担任との連携を密にする）をした。 | |
| | | 課題 新型コロナ感染防止の取り組みは実践できたが、それ以外については不十分であった。保健室利用について、事後処理が不十分であった。 | |
| | 今後の改善方策 | 保健室利用について、教員で情報共有し理解する。 | |

| | | | |
|------|---------|--------------------------------|---|
| 防災安全 | 災害時の対応 | 避難訓練を実施した。 | B |
| | | 防災計画を作成（火災・地震・津波・風水害）した。 | |
| | | 防災備品を点検・管理・購入した。 | |
| | | 防災教育を推進した。 | |
| | 課題 | 日常的に防災学習が必要である。 | |
| | 今後の改善方策 | 教員研修の実施と、生徒の定期的な学習を年間計画に位置付ける。 | |

| | | | | |
|------|---------|-----------------------|---|--|
| 施設管理 | 学校施設の整備 | 施設安全点検を実施した。 | B | |
| | | 情報関係施設管理を実施した。 | | |
| | 課題 | 情報関係備品の取り扱いが不十分であった。 | | |
| | 今後の改善方策 | 使用ルールの徹底と、毎月の点検を実施する。 | | |

| | | | |
|-----|----------------------------|-------------------------|---|
| 生徒会 | 生徒会活動・諸行事を通じてリーダーシップの育成を図る | 生徒会活動の推進、企画、実施を図った。 | B |
| | | 執行部の指導、支援を図った。 | |
| | | 諸行事の指導、支援を図った。 | |
| | | ボランティア活動に関する事項を提案、支援した。 | |
| | | 生徒会ブログの編集・運営を推進した。 | |
| | | ブログの更新が不十分であった。 | |
| | 課題 | 活動のスケジュールを見直す。 | |

| | | | |
|--------|--------------------|---|---|
| 特別支援教育 | 1人ひとりの特性に配慮した指導を行う | 個別支援計画を作成した。 | A |
| | | 個別支援計画、個人票の書式を見直した。 | |
| | | 生徒・保護者面談を定期的に実施した。 | |
| | | 保護者勉強会を企画・実施した。 | |
| | | 校内研修の充実を図った。 | |
| | | 医療機関等専門機関と連携した。 | |
| | | 進路について早期から就労移行支援事業所「I ビリーブ」と連携し、指導・相談を実施した。 | |
| | 課題 | 個別支援計画、個人票の記載について不十分であった。 | |
| | 今後の改善方策 | 定期的に研修を実施する。 | |

| | | | |
|-------|-----------|--------------------------------|---|
| 入試委員会 | 入試広報活動の充実 | 学校案内、募集要項を作成した | A |
| | | 広報制作物を作成した。 | |
| | | H P を管理した。 | |
| | | 学校説明会・体験入学を運営した。 | |
| | | 外部相談会に参加した。 | |
| | | 中学校訪問を実施した | |
| | | 中学校訪問の時間確保が難しかった。 | |
| | 課題 | 業務の効率を上げ、教員間で協力して中学校訪問の時間を見出す。 | |
| | 今後の改善方策 | | |

評価実施者 岩谷学園高等専修学校教職員

- * 各評価項目における評価点（「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」）
 その平均値(少数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示)を以下の基準により表示した。

| 評価 | 基準 |
|----|-----------|
| A | 4. 0～3. 6 |
| B | 3. 5～3. 1 |
| C | 3. 0～2. 6 |
| D | 2. 5以下 |